

2. 事業の概要と成果	
(1) 上位目標の達成度	<p>ハザン省、クアンビン省、クアンガイ省に暮らす少数民族の子どもが整備された教育環境で児童参加型の初等教育を受けられるようになる。</p> <p>本事業は2期のうちの第1期目である。第1期では、2校の教室建設、2校のトイレ建設、対象地域にある全小学校の1・2年生（計202学級）に対する図書・書棚支給などを通じた教室環境の整備を実施した。また、児童参加型授業などの教師トレーニングを実施し、参加した教師がこれらの手法を日常の授業に取り入れている。事業最終年となる第2期では、主に教師間の学びあいの手法が教師間に定着していくことを目指す。第1期終了時のアンケートでは、回答した教師・政府職員の93%が、トレーニングの結果によって「以前より児童が積極的に授業に参加するようになった」と答えた。 (参考資料1. 教師・政府職員アンケート結果)</p>
(2) 事業内容	<p><u>1. 子どもにやさしい教育環境の整備</u> 子どもたちの学習環境改善のため、以下のような活動を実施した。</p> <p>1. 1 教室建設および教室備品の支給 ハザン省ナムタン村に3教室、クアンガイ省ランシ村に2教室、計5教室を建設した。ナムタン小学校では、フェンス・石垣・給食調理場も設置し、校庭のコンクリート舗装も行った（2014年6月変更申請書承認）。各校は2014年5月に建設を開始し、9月に完成。各教室には、黒板、教師・児童用の机や椅子、キャビネット等を支給した。また、教室の正面には、日本政府による支援を示すプレートを設置した。ランシ小学校では、9月に既存の2教室の修繕も行った（2014年9月変更申請書承認）。</p> <p>1. 2 衛生・給水設備の設置 1. 1の対象校の両校において、男女別トイレと給水設備を設置した。ナムタン小学校は学校に近い小川を水源とし、トイレに設置した給水タンクまで、給水パイプをつなげた。ランシ小学校では、水源となる井戸も設置した。両校ともに、2014年9月に完成。トイレと井戸には、それぞれ日本政府による支援を示すプレートを設置した。また、教師、児童に対して設備の使い方を指導した。</p> <p>1. 3 図書および書棚の支給 2014年4～5月に、対象地域のすべての本校を対象に児童用図書を支給した。また、分校を含むすべての1・2年生各教室（計202教室）に、本校から借りた図書を置くための書棚を支給した。12月には追加図書を支給（2014年10月変更申請書承認）。教師には、「子どもにやさしい教育環境」トレーニング内で図書管理方法を指導した。</p>

2. 教師対象トレーニング(参考資料2. 教師トレーニングリスト)

教師と教育訓練局職員的能力強化を目的に、以下の活動を実施した。

2. 1 プロジェクト振り返り・計画ワークショップ

2014年1月に、プロジェクト振り返り・計画ワークショップを2日間行った。参加者は、対象3省の教師や教育訓練局職員を中心とする45人。あわせて、モニタリング・評価に関するトレーニングも実施した。

2. 2 子どもにやさしい教育環境トレーニング

2014年2月に、教材・図書の有効活用と維持管理に関する指導を4日間行った。参加者は、対象3省の教師や教育訓練局職員を中心とするコアチーム42人。トレーニングに参加したコアチームは、各コミュニティに戻った後、地域の教師全員を対象とするトレーニングを行った。各コミュニティでのトレーニングは、クアンビン省・クアンガイ省は当初の予定どおり1回ずつとしたが、よりニーズの高いハザン省では2回ずつに拡大した(2014年5月変更報告書提出)。

2. 3 カリキュラム改善策検討ワークショップ

クアンビン省では2014年5月、クアンガイ省では10月、ハザン省では11月に、カリキュラム調整のためのワークショップを各3日間行った。参加者は、1・2年生の担当教師を中心に、3省で延べ138人。各校では、少数民族児童の理解度にあわせて授業内容を調整した。

2. 4 児童参加型授業トレーニング

2014年3月および6月に、クアンビン省とクアンガイ省のコアチームを対象とする児童参加型授業のトレーニングを2回実施した。それぞれ4日間・5日間で実施し、6月は教材作成指導もあわせて行った。参加者は、対象2省のコアチームを中心とする延べ77人。ハザン省のコアチームに対しては、3月に教材作成トレーニングを3日間実施し、18人が参加した。トレーニングに参加したコアチームは、各コミュニティに戻った後、地域の教師全員を対象とするトレーニングを2回ずつ行った。その後、各校では、少数民族児童に適した教材を作成し、授業案など紹介する資料を制作した。また、クアンビン省では、10～11月にベトナム語指導のためのトレーニングを2回実施し、それぞれ1年生と2年生の担当教師が参加した(2014年10月変更申請書承認)。さらに、10～12月にはベトナム語と算数の現地教育専門家を3省の対象校に派遣し、現場の教師の直接指導を行った。

2. 5 教師間の学びあいトレーニング

2014年2月に、日本人教育専門家の津久井純氏をハザン省の対象校に派遣し、現場の教師の直接指導を行った。4月には、佐藤雅彰氏と津久井純氏が中心となり、クアンビン省にて5日間のトレーニングを行った。12月には、佐藤雅彰氏と齊藤英介氏が中心となり、クアンガイ省にて4日間のト

	<p>レーニングを行った。参加者は、対象3省のコアチームを中心とする延べ104人。さらに、5～11月には現地教育専門家をクアンガイ省およびハザン省の対象校に派遣し、現場の教師の直接指導を行った。各校では、公開授業を毎月行うなど、教師間の学びあいを促進している。特に、各郡1校ずつ選出した5校の小学校（ハザン省ナンマ、タンティエン、クアンビン省ザンホア、クアンガイ省バト、ソントウオン）においては、学校レベルでのトレーニングも実施するなど、地域全体の教師間の学びあいをけん引している。なお、バクザン省で開催予定であったトレーニングは中止し、年3回の実施を予定していた同トレーニングは、年2回の実施へと変更した（2014年5月変更報告書提出）。</p> <p>3. 地域での教育活動の推進</p> <p>3. 1 ベトナム語指導のための教員アシスタント配置</p> <p>ハザン省において、少数民族の子どもたちのベトナム語習得をサポートするための教員アシスタントを6人配置した。教員アシスタントは、地域の保護者を中心に少数民族の言語とベトナム語の両方ができる人物を採用した。教員アシスタントは週5日勤務し、ベトナム語の難しい用語を少数民族の言語で解説するなど、児童の授業理解を促進した。</p> <p>3. 2 地域の読み聞かせ会の開催</p> <p>対象3省において、2014年7～8月の夏休み期間に、地域の読み聞かせ会を開催した。地域の保護者や教師が中心となり、1. 3で支給した図書を活用して実施。3省で延べ98回開催し、延べ3, 836人が参加した。同活動は自己資金での実施を予定していたが、助成金による支援へ変更した（2014年6月変更申請書承認）。また、11月には、タイグエン省にて実施された地域の読み聞かせ会トレーニングに、対象3省から9名を派遣した（2014年10月変更申請書承認）。</p>
<p>(3) 達成された成果</p>	<p>直接裨益者数：7, 729人（対象15コミュニティの110校に通う6～10歳の児童7, 086人、教師615人、教育訓練局職員28人）</p> <p>間接裨益者数：64, 519人（対象15コミュニティの全人口）</p> <p>指標に基づく達成度は、以下のとおり。</p> <p>1) 子どもにやさしい教育環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> • 新しく建設された教室で授業を受けるようになった児童の数：建設対象2校に通う児童 76人（達成度42%、残りは第2期） • 新しく設置された衛生設備を使い、正しい衛生習慣を学んだ児童の数：設置対象2校に通う児童 76人（達成度84%、残りは第2期） • 新しい図書を活用できるようになった児童の数：対象15コミュニティの全児童 7, 086人（達成度100%）

	<p>2) 教師対象トレーニング</p> <ul style="list-style-type: none"> • 子どもにやさしい教室環境をつくり、教材を作成した教師数： 対象15コミュニティの全教師 615人(達成度98%) • 少数民族の児童向けにカリキュラムを調整した教師数： 対象15コミュニティの全教師 590人(達成度94%) • 少数民族の児童向けの授業案を紹介する資料の発行数： 対象15コミュニティの基幹校22校で年2回(達成度200%) • 学びあい公開授業の実施回数： 対象15コミュニティの基幹校22校で年9回(達成度129%) • 学びあいを理解し、各コミュニティで継続参加する教師の数： 対象15コミュニティの全教師 615人(達成度98%) <p>3) 地域での教育活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> • 教員アシスタントのサポートを受けた児童の数： ハザン省の6教室に通う児童 141人(達成度118%) • 地域の読み聞かせ会に参加した児童の数： 対象15コミュニティの児童 3,836人(達成度110%)
(4) 持続発展性	<p>当事業では、事業終了後も効果が継続して維持されるよう、次の2点に留意して事業を実施した。</p> <p>1. 現地行政と住民参加による現地オーナーシップの向上 教室・トイレ建設においては、地域の人民委員会と住民は、労働力の提供など建設準備段階から大きな役割を担った。完成後の維持管理責任を担う意識の定着を図るため、地域住民や教師による建設管理委員会を立ち上げ、工事の進捗管理や施設の維持管理方法に関するトレーニングを行った。当事業で支援した設備の維持管理責任は各コミュニティの人民委員会および学校が担うため、維持管理責任を明記した引き渡し証にて署名を取り交わした。また、図書については、各校の学校管理職に必要な図書の再確認を行った上で支給し、図書管理方法に関する教師トレーニングを行うなど、各校における管理体制を整備した。</p> <p>2. 現地教育行政や教師、地域住民の能力強化 本事業では、当団体スタッフ自らが各校教師に研修を実施するのではなく、各省の教師代表や教育訓練局職員からなるコアチームが中心となり、トレーニングで習得したスキルや知識を各地域の教師に広めた。当団体はコアチームの能力向上と、コアチームによる各校への指導の支援にあたることで、継続的な教師間の学びあいへとつなげている。各校では、教師トレーニング後に教材を作成し、授業案など紹介する資料を制作するなど、トレーニングでの学びを持続していくよう取り組んでいる。地域住民は事業を通じて継続的に地域の教育活動に参加することで、教育への意識喚起がなされ、将来にわたり教育活動へ参加することが期待される。</p>